

提出書類の記載要領

■共通事項

1. 記載例を参考に印字で作成してください。（自著による署名を除く）
2. A4 判でプリントアウトしたものを提出してください。様式 1～7 については、原稿ファイルを電子媒体（CD-R、USB メモリ等）に保存のうえ、併せて提出してください。
3. 提出書類等は、選考及び採用手続きの目的のみに使用し、他の目的には一切使用いたしません。なお、提出書類等は返却いたしませんので、ご了承ください。
4. 提出書類等の記載内容について、推薦者に確認させていただく場合があります。

■履歴書（様式 1）

1. 旧氏名は、必要に応じ旧姓等を記載してください。
2. 年齢は、記入日現在の年度末年齢を記載してください。
3. 学歴は、高等学校卒業以降の学歴を年月の古い順に記載してください。なお、在学中に休学した歴がある場合は、学校等名称の下段に休学期間を記入してください。
4. 免許・資格は、国家試験による免許・資格、学会認定の認定医・専門医の資格等を記載してください。
5. 職歴は、すべての職歴（所属・職名）及び研究歴（所属・身分）を年月の古い順に記載してください。なお、在職中に育児休業や介護休業等を取得した場合は、所属組織名称の下段に休業期間を記入してください。
6. 学会及び社会における活動歴は、本人の専攻・研究分野に関連した事項、社会活動の事項及びその時期を記載してください。
7. 賞罰は、学会賞等を記載してください。ない場合は、「なし」としてください。
8. 行が不足する場合は、適宜追加してください。

■業績目録（様式 2）

1. 業績目録は、次のように分類し、記載例を参考に記載してください。
 - I. 原著 (様式 2 - 1)
 - II. 症例報告 (様式 2 - 2)
 - III. 総説 (様式 2 - 3)
 - IV. 著書 (様式 2 - 4)
 - V. 学会発表 (様式 2 - 5)
 - VI. その他 (様式 2 - 6)
 - VII. 業績等の Impact factor 集計表 (様式 2 - 7)
 - VIII. 研究助成一覧 (科学研究費) (様式 2 - 8)
研究助成一覧 (科学研究費を除く公的助成金)
研究助成一覧 (民間助成金)
 - IX. 自薦論文要旨 (様式 2 - 9)

2. 欧文、和文の別に発表年（発行年）の古い順に記載し、様式毎に通し番号を付してください。なお、表題は省略せず記載してください。
3. 共著の場合は、著者全員の氏名を論文と同じ順に記載し、本人の氏名に下線を付してください。
4. 欧文原著では、corresponding author の氏名に＊を付してください。
5. 著書順は、「first author」、「second author」、「その他」に分類し、「F」、「S」、「他」と記載してください。「corresponding author」の場合は、「C」を併記してください。
IF は、Clarivate Analytics 社「Journal Citation Reports」による 2022 年版のインパクトファクターを記載してください。
例) 「F 【IF : 10.053】」、「FC 【IF : 6.284】」、「他 C 【IF : 4.457】」など
6. 学位論文は、番号の前に○を付してください。
7. 投稿中の論文については、すでに受理されて印刷中のもののみ記載してください。その際、受理証明書（写）を添付してください。
8. I 原著～VI その他の業績の取り扱いは、以下によってください。
I 原著：独創的な実験、観察などについて最初に印刷公表したものであって、緒言、方法、結果、考案、総括などの形式をとり、レフリー制度の確立された学術誌に掲載されたもの（和文で既発表のものを英文等で発表したときは、その対応関係を注）で明らかにしてください
II 症例報告：入院や外来での実際の経験症例を取り上げて、病歴、身体診察所見、主な血液ないし画像検査所見に基づいて、診断、治療、予後、患者教育などについて記載したもので、レフリー制度の確立された学術誌に掲載されたもの
III 総説：特定の分野や主題について、関連文献、資料に基づいて総括的に論評したもので、レフリー制度の確立された学術誌に掲載されたもの
IV 著書：分担執筆を含む
V 学会発表：国内の学会（全国規模のものに限る）及び国際学会における特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ（国際学会については、一般演題を含む）
VI その他：上記以外の業績（特に重要なものに限る）や特許の申請・取得状況、共同研究（共同研究契約を自身の名義で締結しているもの）、治験の実績等
9. VIII 研究助成一覧の取り扱いは、以下によってください。
科学研究費：文部科学省及び日本学術振興会が行う科学研究費補助金及び学術研究助成基金助成金及び厚生労働科学研究費補助金等
科学研究費を除く公的助成金：上記以外の国、地方公共団体または独立行政法人等から配分される競争的資金
民間助成金：民間の財団法人や学会等が、公益活動の一環として、研究活動等に対して助成を行う競争的研究資金（企業からの奨学寄附金を除く）
10. IX 自薦論文要旨については、提出する論文 10 編別刷について記載してください。

Citation（最新被引用回数）を記載する際は、Citation の検索に使用した二次情報データベース名（Scopus, Web of Science など）についても記載してください。

■教育に関する実績（様式3）

高等教育機関（学部、大学院）での医学教育について、担当した講義、実習等（学部、大学院）や大学院生への学位論文指導を含めて、これまでの実績を 2,000 字以内で記載してください。

■研究に関する実績（様式4）

学術研究について、当該研究を通じて実現した成果、獲得研究費等を含めて、自身のこれまでの実績を 2,000 字以内で記載してください。

■診療実務に関する実績（様式5）

診療実務について、初期研修医や若手の医師等への指導も含めて、自身のこれまでの実績を 2,000 字以内で記載してください。

■肝胆膵・乳腺外科学講座担当に当たっての抱負（様式6）

肝胆膵・乳腺外科学講座を主宰するに当たって、当該講座の教育、研究、診療及び教室の運営についての将来展望や抱負を具体的に 2,000 字以内で記載してください。

■手術実績リスト（様式7）

1. 最近3年間(2020年7月1日～2023年6月30日)の手術症例（術死及び再手術例を含む）の全例について、NCDの症例登録順に通し番号を付して記載してください。
2. リストのうち主要な10例について、番号の前に○を付し、手術記録の写し（1例につき11部）を併せて提出してください。なお、手術記録の写しを提出の際は、個人が特定できる情報（氏名、ID等）は黒塗り等の加工を行ってください。
3. 手術における役割の取り扱いは、以下によってください。
術者：その手術において、主体的に手術を行う者
指導的助手：その手術において、自身の知識、経験をもとに術者を指導しながら手術を行う者
助手：その手術において、術者のサポートを行う者
4. 手術名に開腹、腹腔鏡下、ロボット支援下等の区別を記載してください。

■推薦書（様式8）

推薦書は必ず複数名（2～3名）提出してください。併せて、推薦者ごとに「添書《推薦者用》」を記載いただってください。

2020/07/01-2023/06/30（NCD）の手術実績
NCD手術症例一覧Webページをプリントアウトしたものをご提出下さい（3年間の全症例）

NCD検索システム

[メニューへ](#) | [ログアウト](#)

下記の情報は、NCDに登録された症例の情報をもとに表示しています。本システム上で、追加登録や修正を行うことはできません。
登録された情報に誤りがある場合は、症例に登録された施設診療科にご連絡いただき、
登録情報の追加・修正を行っていただくよう、お願いいたします。

手術症例一覧 絞り込み条件

- 一覧のタイトルをクリックすると、一覧の表示順を変更できます。
- 一覧の手術日をクリックすると、手術症例の詳細を表示できます。
- 条件を入力して【絞り込み実行】ボタンをクリックすると、一覧に表示する手術症例を絞り込むことができます。

施設名 :

利用可否(NCD施設会費) :

手術日 : ~ 入力例) 2011/12/18

術式 :

術者区分 : ☒ 術者 ☒ 指導的助手 ☒ 助手

ステータス : ☒ 編集中 ☒ 完了（未承認） ☒ 完了（承認済）

絞り込み条件を下記のとおり設定してください。

手術日：2020/07/01-2023/06/30

術者区分：術者、指導的助手、助手のすべてにチェック

ステータス：編集中、完了（未承認）、完了（承認済）のすべてにチェック

古い順になるよう、ソートをかけてください。

1 件目 ~ 20 件目 を表示 (全 1580 件)

[施設名](#)

[利用可否\(NCD施設会費\)](#)

[手術日 ▼](#)

[術式](#)

[術者区分](#)

[ステータス](#)